

中国を批判できない
朝日の「チベット報道」

4/17号

14 公明党のドンが警察に圧力をかけた 「創価学会」脱会工作事件



創価学会と対立する日蓮正宗・妙観講の信徒2名が逮捕された。学会員への脱会工作に違法な行為があつたとの容疑でだ。が、妙観講側は猛反発。容疑は事実無根で、しかも「公明党のドン」が裏で警察に圧力をかけていたというのである。

創価学会と対立する日蓮正宗・妙観講の信徒2名が逮捕された。学会員への脱会工作に違法な行為があつたとの容疑でだ。が、妙観講側は猛反発。容疑は事実無根で、しかも「公明党のドン」が裏で警察に圧力をかけていたというのである。

引退後も暗躍

3月19日、東京都杉並区に住むA子さん(40)が、24日には西東京市に住むB子さん(45)が、警視庁野方署に相次いで逮捕された。

ともに妙観講のメンバーだつた2人の容疑は、住居不法侵入、強要、そして器物損壊。すなわち、

ヘA子とB子は昨年10月29

「よろしく頼む」

A子さんの夫も憤る。

「妻が逮捕された夜、野方署から脱会届に「無理やりペんを握らせて」サインすることを「強いた」うえ、仏壇にあつた紙の本尊を二セモノだと言い、「ハサミを持たせて切断させた」ところが、この被疑事実

2人を「支援する会」が結成され、4月3日には弁護士会館で「不当逮捕」を訴える記者会見が開かれた。「弁護士が聞いたところでは、話はこうです。2人はX婦人宅に快く招き入れられ、脱会するよう話したところ、X婦人はそれに納得したうえで意思表示の紙に署名・捺印。さらに、仏壇から外した本尊を、家の中から持つてきたハサミで自ら切断したと。そもそもハサミが家の中のどこにあるのか、X婦人しか知りません。それを持ち出してきた時点で、自発的な行為のはず。容疑はすべてデッチ上げなのです」

「それは一体、誰なのか? 捜査関係者の話。
「昨年11月、今回の事件に関する告訴状が出された後、

4月17号

「代わって、自民党はどうをするのやら。」「せません」のみ。

にはいわれがないとして、2人を「支援する会」が結成され、4月3日には弁護士会館で「不当逮捕」を訴える記者会見が開かれた。会の世話を務める小川頼宣氏によると、

「2人にかけられた嫌疑は、過去に妙観講の講員が学会員を脱会させるたび、学会側が言い募ってきたウソとまつたく同じ。フジテレビが25日、警察発表がないに引退し、今も隠然たる影響を実名入りで報じたことも、背後に何らかの勢力の存在を窺わせます。問題なのはもかわらず、2人の逮捕が野方署に対して、2人を立件するよう頼んでいたと

あります。元公明党都議・藤井富雄氏が野方署に来訪。「この告訴についてよろしく頼む」と依頼があった」

藤井富雄氏(83)は写真右。当選11回を経て05年に引退し、今も隠然たる影響を実名入りで報じたことも、背後に何らかの勢力の存在を窺わせます。問題なのはもかわらず、2人の逮捕が野方署に対し、2人を立件するよう頼んでいたと

あります。元公明党都議・藤井富雄氏が野方署に来訪。「この告訴についてよろしく頼む」と依頼があった

元公明党都議・藤井富雄氏が野方署に来訪。「この告訴についてよろしく頼む」と依頼があった

週刊新潮

4月17日号
320円